

## 安全作業手順書 【[雪氷] 梯団除雪作業】



セーフティーバイブル

作成日・ 改正日	2025/4/1 (前回改正：2024/4/1)	現場名	東名高速道路（豊田IC～春日井IC） 名古屋第二環状自動車道 （名古屋IC～飛鳥北IC,有松IC～上社JCT）
機器工具 ・車両	雪氷車両	保護具	ヘルメット、安全チョッキ、安全くつ ゴム手袋、軍手

見積もり基準をした危険性の評価			
重大性(B)	○ 軽微 (不休と休業3日以内)	△ 重大 (休業4日以上)	× 極めて重大 (死亡・障害が残る)
可能性(A)	○ 軽微 (5年に1回程度)	△ 重大 (かなり小さい)	× 極めて重大 (中程度)
	○ 軽微 (1年に1回程度)	△ 重大 (中程度)	× 極めて重大 (かなり大きい)
	○ 軽微 (6ヶ月に1回程度)	△ 重大 (かなり大きい)	× 極めて重大 (極めて重大)

危険性又は、有害性の評価と危険度の判定基準例			
危険性の見積もり	危険性の評価	危険度	判定
××	極めて重大	5	即座に対策が必要
×△、△×	かなり大きい	4	根本的対策が必要
×○、△△、○×	中程度	3	何らかの対策が必要
△○、○△	かなり小さい	2	現時点では必要なし (様子を見る)
○○	極めて小さい	1	対策の必要なし

作業区分	作業手順・作業内容	急所	危険ポイント			リスクの見積り			安全対策（危険度2以下へ）			リスクの再見積り		
			（～なので～になる）			(A)	(B)	リスク	（私達はこうする）			(A)	(B)	リスク
準備工	作業確認	作業の打合せ(KY)を行なう 作業員の役割（運転手、助手）を決める 除雪コースを確認する 除雪車両の出発前点検を行う	作業員全員で 免許証・免許区分の確認を運転手・助手の二人で行って 本部の指示に従い 車両回送手順書に則り	手順を間違えて思わぬケガをする 免許区分の理解不足で、無免許運転をしてしまう /	△ ○ /	× × /	4 3 /	全員で手順書、KYの内容を周知する 乗車時に必ず免許区分明示車両ステッカーを確認する /	○ ○ /	○ △ /	1 2 /			
本作業	出発	基地等、敷地内から車道へと進入する	周囲の安全を補助員と共にしっかり確認して	確認不足により一般車両及び人と接触する	△	×	4	余裕を持って慎重に車道へ流出する	○	△	2			
	回送	25.車両回送手順書に則る												
	除雪作業	除雪を行う	除雪梯団構成のために車線変更する時は、運転手・助手で一般車の有無を確実に目視にて確認して 通行車両との間隔に十分気をつけて 前方作業車と助手から交信して	車線変更の際に一般車に気づかず、プラウ等が接触し事故になる 後方車両から追突される 後方の通行車両に追い抜かれ、散布材が飛散する	△ △ △	× △ ×	4 3 4	車線変更の際は後方車両と連絡を密に取りながらも、最終的には運転手・助手の目視確認して安全を確認してから変更する 助手は左右、前後の車両を確認する 2車両の交信を密に行い、間隔を保つ	○ ○ ○	○ ○ ○	1 1 1			
	作業途中	Uターン及び回送を行う	必ず決められたルートに従い	幅広レーンを通れず料金所に車両が接触する	△	×	4	走行前に必ず運転手、助手の二人でレーンの確認を行う	○	○	1			
	回送	Uターン、回送及び帰着の連絡を行う	指示に従い	路面凍結により一般車がスリップして事故を起こす	△	×	4	一般道の情報は入りづらいので、最移行に努める	○	△	2			
後片付け	給油、洗車を行う	車両状態を確認して	バルブの切り替えを失念し塩水を車両にかけてしまう	△	×	4	洗車前に必ずバルブの確認を行う	○	○	1				
駐車	駐車する	バックによる駐車の際は、必ず補助員のバック誘導に従い	バック誘導員を配置せず、後方確認が十分でず 他車両・設備・人等に接触する	×	△	4	必ずバック誘導員を配置し、後方及び周囲の確認を行いながら駐車する	○	△	2				